

3. 資本のリサイクルの創出

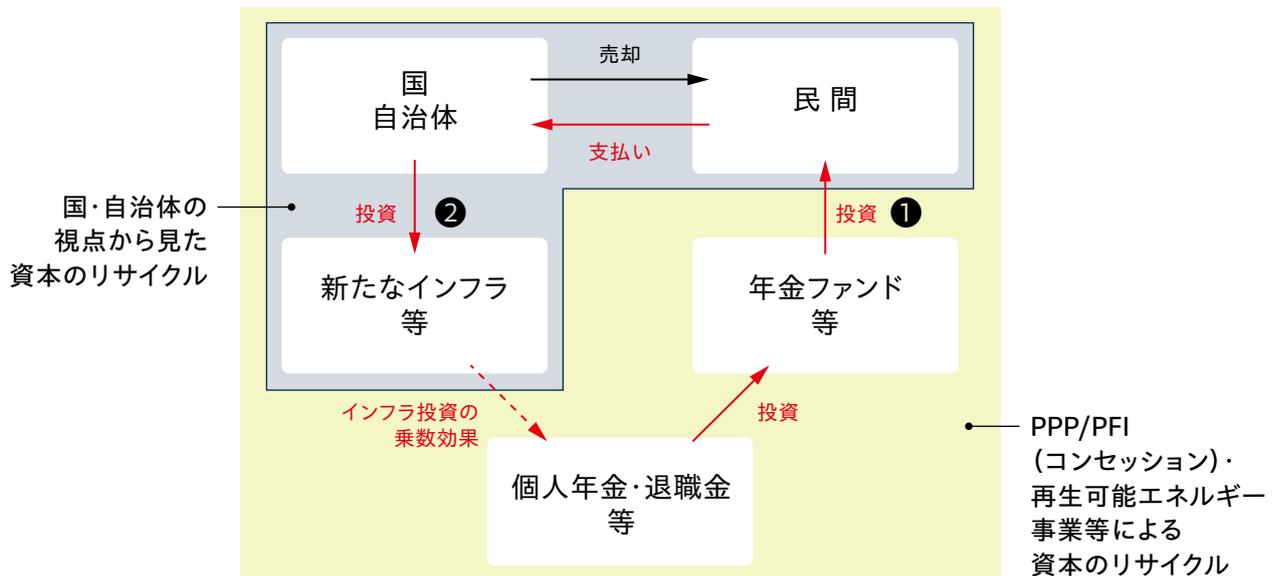
資本のリサイクルによる価値創出

インフロニアは、建物やインフラをつくるエンジニアリング力をベースに、企画・設計から施工そして維持運営の段階まで関わり、開発リスクを取って長期的にリターンを生み出すようなインフラを社会に供給していきます。

それにより、

- ① 運営管理に継続関与しながらも、エクイティは年金ファンドなどの投資家に渡していきます。
- ② PPP/PFI事業では、国や自治体にとっては、運営権の売却により得た収入で新たなインフラ等へ投資することが可能になります。

また、再生可能エネルギー市場でも、私たちが良質な発電事業をつくり社会に供給することで、市場の活性化とカーボンニュートラル実現に寄与します。このように資本のリサイクル、セカンダリー市場創出に積極的に取り組むことにより、インフラの整備や更新、年金財政等が抱える課題の解決に寄与すると考えています。



開発事業の社会への供給実績(セカンダリー市場創出)

2021年度 太陽光発電2案件のインフラファンドへの売却

2022年度 風力発電1案件のインフラファンドへの売却

グローバル・インフラ・マネジメント株式会社 2つのインフラファンドの設立

資本のリサイクルモデルへの取り組みの一つとして、当社は、東急株式会社(以下、「東急」とともに、インフラ事業に長年携わってきた互いの異なる強みをさらに活かし、近年、高まる新しいインフラへの市場ニーズに迅速かつ幅広く応えるために、インフラを金融面で支える役割を担うグローバル・インフラ・マネジメント株式会社を設立しました。金融分野の専門人財を中心に、インフラ事業のファイナンスや投資サポートなどを担っています。我が国では、近年インフラ課題への迅速な対応に向け、官民連携や再エネ導入の促進などに向けた多くの政策が出されており、2022年6月には内閣府より「PPP/PFI推進アクションプラン(令和4年改定版)[※]」が公表されました。その資金需要に対する新たな投資機会や安定的キャッシュフローを求める資本市場などからの注目も高まっており、同社が担う役割はより増していくものと考えています。

PPP(官民連携)や環境エネルギー分野等におけるさらなる事業展開と国内インフラ資本市場の育成を目指すために、同社では、アセット・クリエイション・ファンド・シリーズ(以下、「ACF」とインカム・ファンド・シリーズ(以下「ICF」という2種類のインフラファンドも、2022年度の設立に向けた準備を2021年度に進めてきました。資本のリサイクルの創出・促進に向け、この2種類のインフラファンドの設立は、株主である東急と当社が率先して進めるための大きな一歩でもあります。

グローバル・インフラ・マネジメント株式会社 <https://www.gimc.jp/>

[※] PPP/PFI推進アクションプラン(令和4年改定版)https://www8.cao.go.jp/pfi/actionplan/action_index_r4.html 参照